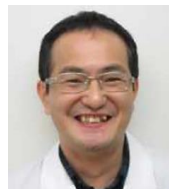


『心不全薬剤導入確認シート』による 心不全基礎治療薬の導入率と服薬アド ヒアランスの向上

長崎みなとメディカルセンター

心不全患者さんの生命予後を改善するための取り組み

心不全基礎治療薬の導入率と服薬アドヒア
ランスを向上させるために



心臓血管内科
診療部長
布廣 龍也先生



薬剤部
森 由紀子 先生

Q1 『心不全薬剤導入確認シート』による 心不全基礎治療薬の導入率の向上

心不全、特にHFrEF (heart failure with reduced ejection fraction: 左室駆出率の低下した心不全) では、生命予後を改善するエビデンスが確立した薬剤があります。

種類としては、 β 遮断薬、ACE阻害薬/ARBもしくはARNI、MRA (ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬)、SGLT-2阻害薬、利尿薬で、心不全基礎治療薬として位置づけられています。

当院ではこれらの心不全基礎治療薬の導入率を上げるために、「心不全薬剤導入確認シート」を心臓病手帳に貼り付け、心不全患者さんが退院するまでに医師と薬剤師が心不全基礎治療薬の処方漏れをダブルチェックしています。

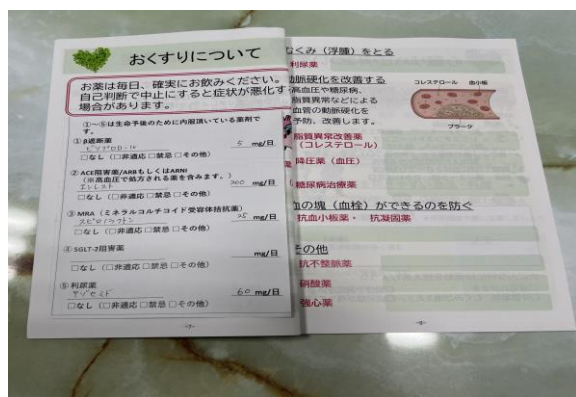
この取り組みにより、院内での心不全基礎治療薬の処方率は上がっております。

Q2 『心不全薬剤導入シート』による 心不全基礎治療薬の服薬アドヒアランスの向上

心不全基礎治療薬の服薬アドヒアランスを上げることで心不全患者さんの生命予後が改善すると考えています。

心不全で入院した患者さんには、「心不全薬剤導入確認シート」を用いて、薬剤師と医師より心不全基礎治療薬は生命予後を改善する薬剤で、継続して服薬することが大事であることを丁寧に説明しています。

患者さんからは「忘れない様に飲まないかね。」など、服薬に対して前向きになってくれる患者さんも多くいらっしゃいます。



※心臓病手帳に貼り付けている心不全薬剤導入確認シート